

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	相模女子大学				
取 組 名 称	社会マネジメントを担える女性の育成				
取組学部等	人間社会学部社会マネジメント学科				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A22159	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申 請 の 分 類	専 門 基 礎	キ ャ リ ア		体 験 活 動	
キ ー ワ ー ド	社会マネジメント力, キャリア教育, しゅみづくり, フィードバック・システム, 地域ブランド開発				

<選定理由>

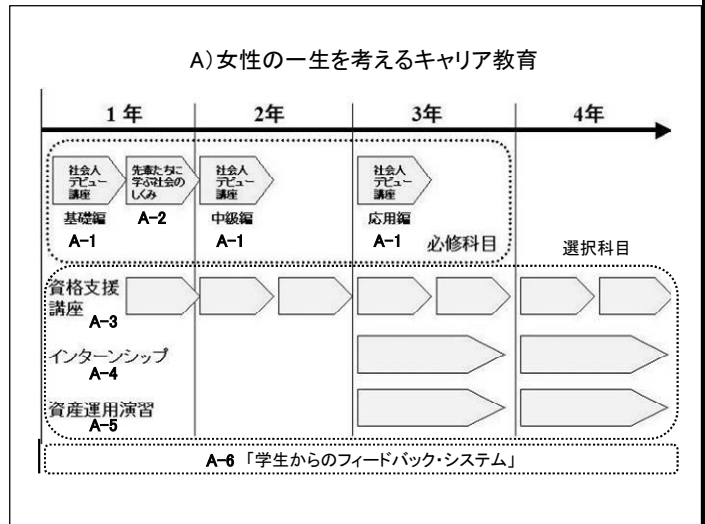
本取組は、時代に適合した社会のしゅみづくりを担う力である「社会マネジメント力」を備えた女性を育成するという教育目標を実現するために、複数の教育課程を編成し、学生に修得させようとするプログラムであり、その計画性において高く評価できるプログラムである。特に、教育課程において、「女性の一生を考えるキャリア教育」及び「新しい社会のしゅみづくりを担える女性の育成」としての二種類の科目群が設置されており、前者には個々の学生の将来設計を目指す「社会人デビュー講座」を始め「資格支援講座」、「インターンシップ」、「資産運用演習」等の科目が用意されている。また、後者には、国際交流、産学官連携等に係る演習科目が用意されており、総じて、幅広い教育課程によって、取組の目的を達成しようとする姿勢は意欲的であり、現在の大学生（特に、女子大生）の一つの有力な教育モデルになりうるものと判断する。

ただし、この取組全体が実効を上げるためには、個々の科目における教育内容の充実が不可欠であり、また「社会マネジメント力」育成に向けた全科目の絶えざる見直しとそれに応じた科目再構成の実施が必要であると考えられる。このことに留意しつつ、取組の成果を着実に上げていくことを期待する。

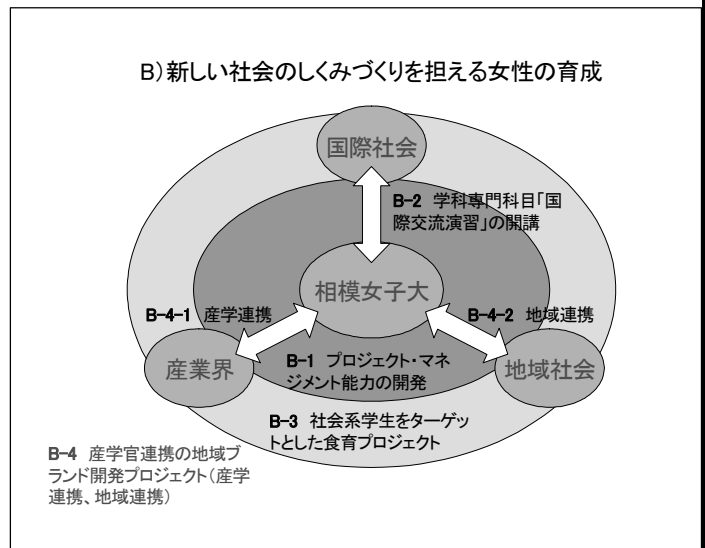
取組の概要【1 ページ以内】

相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科は、時代に適合した社会のしくみづくりを様々な立場において担う力である「社会マネジメント力」を育成することを教育の目標に置いている。本取組である「社会マネジメントを担える女性の育成」は、この目標に沿って、新たな教育方法を試行するものであり、次の2つの部分からなる。

第1は、「女性の一生を考えるキャリア教育」である。社会のしくみづくりを担うためには、学生自身の自立と自律が必要である。このため、結婚、出産、育児等に伴い、離職、転職等の機会が多くなりがちな女性のキャリア・パスを念頭において、「一生の様々な場面において必要となる能力」、「資産運用等までをも含めた総合的な能力」を身につけさせる。具体的には、学科専門教育科目である「社会人デビュー講座」、「先輩たちに学ぶ社会のしくみ」、「資格支援講座」、「インターンシップ」、「資産運用演習」の実施、双方向型授業を支援する「学生からのフィードバック・システム」の構築と活用等を推進する。



第2は、「新しい社会のしくみづくり」を担える女性の育成」である。行政、企業、NPO 等と連携し、学生にプロジェクトの企画、運営等を経験させ、実社会で通用するマネジメント能力の獲得を目指す。学生が中心となってプロジェクトを実行すること、失敗を含めた様々な経験を積むこと、経験をケース等の形にまとめ教育素材として蓄積・活用していくことを重視する。具体的には、地域社会、産業界、国際社会等の分野に着目し、「産学官連携の地域ブランド開発プロジェクト」、「プロジェクト・マネジメント能力の開発」、「国際交流演習」、「社会系学生をターゲットとした食育プロジェクト」を行う。



本件は、平成 20 年度から 3 年間の計画であり、大学全体の支援の下、社会マネジメント学科の教員、学生全体で取り組むものであり、その後の継続実施を視野に入れる。取組結果については、学生、外部連携主体、外部委員を含めた学科評価委員会等による評価等を行い、知見について、広く他大学等との共有化に努めていく。本取組により、社会マネジメント力を有する女性の育成方法のモデルケースを確立し、社会のリーダーとして活躍できる女性を一人でも多く育てていきたい。